

# ぎかいの窓

2026 April

第198号

あや町議会



## Topic

- ・3月定例議会
- ・一般質問
- ・議員の報酬について

# 令和8年 3月 第2回 綾町議会(定例会)

議案第3号

全員賛成

可決

## 綾町特定乳児等通園支援事業の 運営に関する基準を定める条例

令和8年度より施行される「こども誰でも通園制度」について、事業者の運営基準を定める条例の制定。

賛成:海江田

3歳未満児の安全で適切な保育を確保し、保護者の就労支援や子育て負担の軽減を図る条例である。少子化が進む中、安心して子どもを預けられる環境の整備は、子育てしやすい地域づくりにつながるものと評価する。

賛成:橋本

保護者のリフレッシュという点では良いと思うが、子育て支援センターでも対応可。本制度は保護者の負担軽減ではなく子ども中心の制度でその目的に照らして1月10時間の利用で良いのか疑問。保育現場の負担と責任は大きい。保育士の配置基準の見直しの改善を求める。

議案第4号

賛成6 反対3

可決

## 特別職の職員で常勤のもの の給与及び旅費に関する条例の 一部を改正する条例

綾町特別職報酬等審議会の答申に基づき、町長・副町長・教育長の給与をそれぞれ28,000円から22,000円引き上げるもの。ただし町長については、令和9年6月8日までの在職期間中は据え置きとするもの。

反対:日高

今回の特別職報酬等審議会の答申に基づき、三役の給与の額について所要の改正を行う改正案。報酬等審議会で、物価高騰の中なぜこのタイミングで報酬を上げるのか等も出され、三役自ら給料を上げることについては理解しがたい。

反対:外山

報酬等審議会で決議したことが伝わっていない。4月に臨時議会があるので、その前に報酬等審議会を開き議長に説明を聞き、決議してもらい、臨時議会で決めればよい。

反対:橋本

県内でも低いことや8年ぶりの改定は理解するが、物価高騰が町民の暮らしを圧迫している中、アメリカ・イスラエルのイランへの先制攻撃の影響でガソリンの急激な値上がりが始まっている。行政への要望もかなわない現状で特別職の給与引上げ町民には理解されない。

賛成:興梠

本町の3役の給与は8年間据え置かれたままであり、県内でも最低水準である。今回の引き上げは妥当なものとする。

議案第5号

賛成5 反対4

可決

## 議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

綾町特別職報酬等審議会の答申に基づき、議会の議員のうち議長・副議長・委員長について、それぞれ22,000円から4,000円引き上げるもの。

反対:橋本

議員の成り手不足を報酬で解決するほど単純ではない。報酬等審議会の答申から「引き上げるべき」との強い意思は読み取れない。政務活動費の新設には多くの問題がある。

反対:外山

一般的な目安からすると、町長職に対する議員報酬割合は、綾町は低い。

反対:興梠

成り手不足の解消策の一つとして、基本的に報酬は引き上げるべき。今回の改正は役職のみであって、議員報酬の底上げになっていない。議会

の情報公開、公聴会の開催、議員の仕事についての丁寧な説明など、まず取り組むべきことがあるはず。議員間で協議を重ね、町民と審議会に対して、十分な議論の材料を提示すべき。

#### 賛成:山田

物価高騰の中、報酬引き上げに慎重な声は理解する。しかし、報酬等審議会の答申を踏まえ、議員報酬は交付税措置もあり財政への影響も考慮されている。町民理解を得ながら責任ある体制を維持していく一歩となる。

#### 賛成:海江田

社会経済情勢を踏まえ、議員報酬等の在り方を見直す改正であり、議員活動を適切に行うために必要な措置と考える。町民の関心も高いことから説明責任を十分果たし、信頼を大切にしながら責任ある議員活動に努めるべきもの。

#### 賛成:児玉

報酬等審議会が開催され、その答申により決定した案件である。近年は物価高騰の現状もあるが、8年間審議会がなく、今回の改正案については、その重要性の観点から答申が上がったことは尊重すべきと考える。

#### 賛成:中神

町民の生活実感を踏まえ、安易に賛成するものではない。8年ぶりに報酬等審議会が開催された。議員の環境を整えることも大事。町民の声をよりよく反映する議会にし、一層の使命感を持って行く。

#### 議案第6号

賛成8

反対1

可決

## 公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

「綾町子育て支援センター」と「綾町病児・病後児保育施設」について、1日1,000円から1時間あたり300円(町外者は2倍の額)に改正するもの。てるはドーム改修に伴い、新料金に定めるもの。

#### 反対:橋本

子育て支援センターの利用料金が大幅な値上げとなり、7時間利用者の料金は2.1倍となる。

#### 賛成:興梠

子育て支援センターの一時預かり利用料金が実質値上げ。低所得世帯にとって負担増。「こども誰でも通園制度」によって民間での受け入れ緩和、同時に低所得者向けの減免措置もあり、センターは従来の受け入れだけでなく、幅広い乳幼児、妊婦に対しての相談窓口としての機能を充実させる予定。真に使いやすい制度設計を望む。

#### 議案第7号

賛成7

反対2

可決

## 綾町出産祝金条例の一部を改正する条例

これまで支給対象が「第3子以降」だったものを「第2子以降」へと拡大し、祝い金を第2子5万円、第3子10万円、第4子20万円とするもの。

#### 反対:橋本

祝い金という性質から金額の設定は難しいが、出生率や出生数を上げたいとの思いならば、第4子以降の祝い金を30万円から20万円への引き下げはすべきではない。

#### 反対:外山

第2子に5万円の支給は評価できるが、第4子への支給は減額せず、改正前の30万円でのよいのではないか。

#### 賛成:海江田

支給対象を第2子まで拡充することは、子育て世帯への経済的支援として評価できる。少子化が進む中、保育環境の充実など安心して子どもを産み育てられる環境づくりを求める。

#### 議案第8号

賛成8

反対1

可決

## 綾町国民健康保険条例の一部を改正する条例

マイナ保険証開始によって健康保険証が廃止されたことに伴い、条例の文言を整理するもの。

反対:橋本

マイナンバーカード(マイナ保険証)の交付を受けるか否かは任意だが、地方自治体の条例まで改正し、交付を受けていない住民の存在を否定するかのようなやり方は認められない。

議案第9号

全員賛成

可決

## 綾町農業集落排水施設の管理に関する条例の一部を改正する条例

これまで工場排水の受け入れを想定してなかったが、現状に鑑み使用料の算定ができないケースに対応するため、所用の改正を行うもの。

賛成:橋本

今後は事業者の事業内容・規模を十分考慮し、事業者と協議を進めて事業所内での排水処理を求める。

賛成:外山

企業が、工場に浄化槽を設置しないのが問題ではないか。使用料が4倍なのは適正なのか。

議案第10号

賛成8

反対1

可決

## 産業観光施設の指定管理者の指定について

照葉大吊橋、クラフトの城、馬事公苑について8年度から3年間、「綾町産業観光協会」を指定管理者とするもの。また同協会はこれまでの綾町観光協会、綾町産業活性化協会を統合再編されるもの。

反対:外山

照葉大吊橋の営業時間が変わるが看板の記載は変更したのか。施設の方向性と仕事内容を町民が理解できるような説明を受けないと賛成できない。

賛成:橋本

管理委託の新しい「綾産業観光協会」はふれあい館1階をはじめ馬事公苑、大吊り橋、綾城の事

業運営にあたる責任の大きい組織だ。各施設は問題山積だ。エコパークセンターや教育委員会との連携も必要。町民にとっても身近な施設になってほしい。

議案第11号

全員賛成

可決

## 尾立辺地に係る総合整備計画の策定について

町道南麓・竹野線の拡幅工事に1億3,000万円、飲用水供給施設整備に2,998万円を、辺地対策事業債として計上するもの。計画の期間は令和8年度から12年度の5年間。

賛成:外山

辺地債を使えるところは適切に使い、住み良い綾町にして頂きたい。

議案第12号

全員賛成

可決

## 令和7年度綾町一般会計補正予算(第8号)

決算見込みによる補正が主なもの。小学校裏急傾斜地崩落対策として5,000万円。

賛成:海江田

町税収納率の向上は県派遣職員を含む職員の努力の成果である。徴収対策は税の公平性確保のため重要であり、今後も強化を求める。国スガ関連工事の大幅減額は経緯を検証し、適切な事業計画と進行管理を求める。

議案第17号

賛成6

反対3

可決

## 令和8年度綾町一般会計予算

- ・法人後見事業
- ・DX推進事業
- ・小学校給食費負担軽減交付金事業
- ・国民スポーツ大会リハーサル大会関連
- ・予防接種RSウィルスの定期予防接種
- ・バイオガスプラント基本設計事業、他

反対:外山

- ・歩行浴プールの部屋だが、空調設備を整えて欲しい。
- ・地域おこし協力隊について、委託先と町で領収

証・精算書の保管や、会計検査が入ったときに、それが無い場合は全額委託会社が支払う等、文書を交わし決めるべき。また、町民に活動を知らしめる策も考えるべき。

・高校生の支援の金額は全員同額にすべき。

**反対:橋本**

オンデマンドバスが町内全域に拡大する一方、タクシー券枚数半減には同意できない。バイオガスプラント基本設計業務2,200万円計上は事業導入(総事業費は10億円程度)に向かう予算だ。まずは住民説明すべき。地域おこし協力隊員、地域活性化起業人の活動を「動画配信、SNSで発信」と言うが、町民の目に触れる策は取っていない。

**賛成:海江田**

福祉、子育て、防災、産業振興など町民生活に直結する施策を盛り込んだ予算であり評価する。出産祝金拡充やオンデマンド交通、バイオガス事業など本町の将来につながる取組に期待し、限られた財源の有効活用と町民目線の行政運営を求める。

**賛成:興梠**

①タクシー事業者との協議不在や撤退リスクへの備えを。②バイオガスプラント事業について、住民への十分な説明を。③RSウイルスワクチンについて、日米の公式添付文書にリスクに関する情報格差があること、安全性の検証が定期接種開始に追いついていないことを指摘し、母子手帳交付時などに効果とリスク両面を記した中立的な説明文書の添付を求める。

議案第18号

賛成7

反対2

**可決**

## 令和8年度綾町国民健康保険特別会計予算

**反対:橋本**

国民健康保険は、自営業や退職者そして失業中など比較的収入の少ない人の加入が多く、保険料は払える限度を超えている。全国の知事会、

市長会、町村長会は国に国保特別会計に1兆円を投じるよう求めているが全く対応しないどころか、4月から「子ども子育て支援」に充てる額を税金に上乗せする。(綾町で400万円の予算計上)

議案第19号

賛成7

反対2

**可決**

## 令和8年度綾町後期高齢者医療特別会計予算

**反対:橋本**

新年度は2年に一度の保険料見直しの年。綾町の被保険者で460万円の負担増。高齢者にも「子ども子育て支援」分を年1,737円上乗せする。

議案第20号

賛成7

反対2

**可決**

## 令和8年度綾町介護保険特別会計予算

**反対:橋本**

制度から25年経過。この間、給付(サービス)は削り、利用者負担は増やしてきた。綾町では受けられるサービスに限りがあり、今後増える見込みはない。国は2割負担の対象者拡大、ケアプランの有料化、要介護1と2を介護保険から外し総合事業に移すことを検討中であり容認できない。

議案第24号

賛成7

反対2

**可決**

## 令和8年度綾町水道事業会計予算

**反対:外山**

水道事業会計予算には、一般会計からの繰入を増やせばよい。その為にも、ふるさと納税を頑張るべき。

**反対:橋本**

令和7年度から水道料金が値上げとなり負担増を実感している。この水道料金には消費税が課せられている。人が生きるのに欠かせない水に消費税転嫁は反対。職員には敬意を表すが有収率向上も求める。

# 3月定例議会：議決結果一覧表

区分	議案番号	審議結果	議案一覧	上野一八	中神智光	興梶智一	外山ひろ子	海江田和久	山田由美子	児玉信	日高幸一	橋本由里	討論	
条例	3	可決	綾町特定乳幼児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	4	可決	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	●	●	※	
	5	可決	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	●	●	○	○	○	●	●	※	
	6	可決	公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	※	
	7	可決	綾町出産祝金支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	●	※	
	8	可決	綾町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	※	
	9	可決	綾町農業集落排水施設の管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	その他	10	可決	産業観光施設の指定管理者の指定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	※
		11	可決	尾立辺地に係る総合整備計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
予算	12	可決	令和7年度綾町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	13	可決	令和7年度綾町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	14	可決	令和7年度綾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	15	可決	令和7年度綾町介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	16	可決	令和7年度綾町水道事業会計補正予算（3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	17	可決	令和8年度綾町一般会計予算	○	○	○	●	○	○	○	●	●	※	
	18	可決	令和8年度綾町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	●	※	
	19	可決	令和8年度綾町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	●	※	
	20	可決	令和8年度綾町介護保険特別会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	●	※	
	21	可決	令和8年度綾町農業集落排水事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	22	可決	令和8年度綾町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	23	可決	令和8年度綾町浄化槽事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	24	可決	令和8年度綾町水道事業会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	●	※	
25	可決	令和7年度綾町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
発議	発議案1	可決	民生委員・児童委員の処遇改善を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		



日高議員

## 令和8年度施策に臨む町長の所信は



一般質問の様子を動画で見ると

議 「綾らしさ」と「綾ブランド」という先人先達が築き守り続けて来た精神伝統を尊重しつつ時代に即した対応を求められる中、町長の決断は極めて重要。令和8年度の施策に臨む町長の考えは。

町 町民の幸福度向上、本町の魅力度向上、情報発信の強化、個性的・自主的な町づくりとして魅力ある綾町の大切な資源「綾らしさ」「綾ブランド」を更に磨き、今の時代、人口構成等にあったやり方が必要になってくる。いろんな方々の意見を聞きながら、考えも交えながら進めていく。

議 役場庁舎の建て替えや体育館・武道館といった公共施設の老朽化が進行している。これらを含めた全町的な公共施設再編や長期ビジョンの進捗管理等が必要ではないか。町の考えは。

町 役場庁舎は、新庁舎プロジェクトを立ち上げて3月中にその会合を開始、検討をスタートさせる予定。庁舎は行政機能の中核であるとともに、災害時の防災拠点としての重要な役割を担う。施設の安全性・機能性・効率性に加えて、庁舎整備の在り方や、体育

館・武道館を初めとする公共施設についても更新の時期を迎えつつ標準化を図りながら、財政負担等を考慮し検討していきたい。

議 庁舎の建て替えや既存施設の再編を見据えた際、中心市街地の活性化は不可欠である。長期計画におけるまちなか地区の課題などをどのように盛り込み具現化していく考えか。

町 ふれあい館の1階を「綾町産業観光協会」事務所として活用し、観光案内業務を行う。ラジオ畑の放送も「ほんものセンター」館内に流すなど、ふれあい館を拠点とした中心市街地の活性化を図りたい。

議 地元選出代議士が5名となったことは、地元の声を国へ届ける大きな好機である。新体制に対する町長の認識と「地方創生」を加速させるための働きかけは。

町 意見交換、政策協議の機会を積極的に設けて町の実情や施策のニーズを直接伝え、国・県・町一体のネットワークを強化していく。



橋本議員

## オンデマンドバス 本格稼働



一般質問の様子を動画で見ると

### 町内全域に拡大

議 新年度から何がどう変わるのか。

町 運行エリアが町全域になり、拡大地域のタクシー券は半減。同伴者登録により年齢制限なく同乗可能。イベントや年金支給日などは休日運行もあり。オンデマンドバスは「ぐるっと綾」、軽自動車による自宅までの送迎は福祉交通「てるは」と愛称もつけた。

議 町外への通院の可能性はどうか。

町 町内送迎に支障が無いと判断できれば、国富町の医療機関への送迎を検討。

### ホームページ閲覧やSNSの利用ができない町民はおきざり

議 役場や防災無線での「ホームページをご覧ください」は利用できない町民にとって辛いこと。疎外感を感じる。

町 防災無線は録音時間の制約があるが案内を充実する。「詳細はホームページで」が不安や不満を持たせているならおわびする。広報や回覧板も読んでほしい。

### 図書館の休みを週1回に

議 通常時の図書館の連休(月2回連休)は、その設置目的上も問題。財政確保や職員の確保が難しいというが、要望に応じて図書館の役割を果たして。夜間の開館も戻してとの声もある。

町 できる限りの手立てをしたうえでのこと。理解してほしい。

### 役場の窓口業務の時間短縮は行政サービスの後退

議 行政サービスは向上してこそ。効率優先で考えるべきではない。

町 行政は全体最適が一番だ。時間短縮で出来た時間を町民に還元する。業務の効率化、軽費の適正化も考慮し代替措置も可能と判断し実施した。

町 窓口のアンケートで「賛成」「どちらかといえば賛成」が52%だ。

議 根本的に考えが違う。町民一人ひとりに対応するのが行政サービスだ。

町 全体最適を進めていかざるを得ないのが行政だ。現実的な考えをしてほしい。



山田議員

当初予算



一般質問の様子を動画で見る

議 令和8年度当初予算は前年比で1億2,500万円減り、69億4,500万円。重点施策はなにか。

町 教育、産業振興、国民スポーツ大会を活用したスポーツ振興及び誘客、自治公民館活動、防災減災対策、DXの推進、情報発信、健康づくりの強化。いずれも町民生活の基盤を支え、将来にわたり効果的かつ持続可能な財政運営に努めた町づくりである。

議 令和8年度予算編成後の実質公債費比率、将来負担比率の見通しは健全財政の基準内にあるのか。

町 実質公債費比率9.5%、将来負担比率55.5%で健全な水準。

議 今後5年程度を見据えた中長期的な財政見通しは楽観的か、厳しい状況か。

町 令和9年度の予算規模は74億。令和10年度から令和13年度には60億から61億円を見込んでいる。国民スポーツ大会やバイオガスプラントの建設を踏まえても、実質公債費比率、将来負担比率は基準内と考える。公共施設の更新など大型投資を行う場合には十分に精査していく。将来世代への過度な負担にならない

よう、地方債の適正管理、基金の計画的積み立てを進め健全な財政運営に努める。

議 本年度、効果が薄い事業の見直しを行ったのか。

町 新年度予算編成に係わる各課2回のヒヤリングをふまえ、令和7年度の410事業から効果が限定的な事業を抽出し、廃止35、見直し375。事業の廃止よりも実施方法の見直しや優先順位の整理で住民サービスの本質的低下とならないよう配慮した。

議 有機農業を次世代に繋ぐため、担い手確保、所得向上にむけた具体的な事業計画と予算の実行性は。

町 令和5年から綾町オーガニックスクールを開校。みどりの食料システム戦略推進交付金や地域おこし協力隊制度を有効に活用して、運営基盤の安定化に取り組んでいる。

※正常な自治体の数値

実質公債費比率 10%未満 将来負担比率 150%以下

他に、選挙の投票率向上、マイナンバーカードについて質問した。



中神議員

町民生活がすこしでも良くなるために



一般質問の様子を動画で見る

物価高騰対策

議 町独自の新たな支援策はないのか。

町 予算計上はないが、国、県の動向を注視して、補正を組むなり対応していく。

給食費について

議 小学校においては国の支援で実質無料化されるが、中学校への対応は。

町 子育て支援、食材高騰補助金等を活用し、保護者負担を軽減し月額3,350円。オーガニック給食に更に取り組んでいく。

町民負担軽減策

議 水道管整備など国の支援が必要な案件の対応は。

町 毎年、国に対して要望活動を行っている。インフラ整備には莫大な資金と時間がかかる。町単独では限界があるので、根強く足を運んでいく。

議 こればかりはすぐに結果がでるものではない。これから先、生活の足かせにならないようお願いする。

綾ブランド農畜産物も一翼を担っている

議 JA地区本部制が来年なくなり新たな組織に再編されると聞く。綾ブランドが薄れていきそうである。

町 地域ブランドは守るし、守られなければならないもの。町独自のトップセールスや、宣伝販売をやりたい。流通や販売業者への直接卸なども視野に入れ、本物を確立していく。

持続可能なハウス栽培確立にむけて

議 ハウス建て替えの要望がある。昨今の情勢ではかなり厳しいと思うが。

町 本来はJAが事業主体で取り組むもの。将来に希望の持てる農業を確立するため予算計上している。中古ハウス移設費用や、整備事業支援等がある。今後JAと生産部会が事業に取り組めば検討する。

食料品消費税0%!消費者には良い事だが、農家には死活問題

議 物価高騰対策の一環で打ち出されたが、農家は喜べないのが現実である。資材、燃料などには消費税が掛かる。子牛価格がコロナ前に戻りつつある中農家収益が減少する。

町 国会議員にその旨伝える。



興梠議員

## 綾川荘の設立目的と今後



一般質問の様子を動画で見る

- 【議】綾川荘は近年、町民と距離があるとの指摘が、町の認識と今後の方針は。
- 【町】指定管理者からの月次報告、宿泊者、入浴者の利用状況、さらには利用者の声などを分析、町民利用の状況や、観光需要の状況、課題などを整理していく。
- 【議】条例の趣旨に照らして、サービス内容を再点検し、見直す必要はないか。
- 【町】それも踏まえて運営、協議していく。
- 【議】現状、経営の最大の懸案事項は。
- 【町】人材確保と施設・設備の老朽化、町民を初め利用者の減少、収益事業と福祉目的の両立の難しさ。
- 【議】町民のための綾川荘を。

### 国スポの人員不足解消と安全確保策

- 【議】職員約100名の本町が、過去の事例では馬術競技だけで70名以上の動員を要する現実はどう対処。
- 【町】運営の外部委託には約1億円規模の費用が必要だが、工夫で最大限の効率化を図っていく。専門性や安全確保の面で必要最低限の委託を適切に実施。本町の地域防災計画等に基づいて、関係機関と連携し対応。近隣自治体との具体的な連携体制の構築はまだ。

- 【議】通常より人口が一時的に増え、職員への負担大となるが、県も含めて計画なり想定の方針はあるのか。
- 【町】どういう状況が発生するか分からない状況で、様々なシミュレーションを立てることは、基本的にはやるべきではない。
- 【議】何が起こるか想定できないのか。

### オンデマンド交通とタクシー事業への影響

- 【議】タクシーは、高齢者に限らず全町民の日常生活や観光客の移動に大きな影響が。また、オンデマンド交通の運行範囲拡大で、タクシー利用者の減少がさらに加速する可能性は。
- 【町】事業者の経営状況にどんな影響を与えるか把握していないし、必要ない。
- 【議】タクシー会社の取締役によれば、検証実験の相談報告も一切受けてないと。重大な失策ではないか。高原町のように、タクシー会社に運行委託するような方式を検討しないのか。
- 【町】相談する必要はないと考える。残念ながらタクシー会社が十分に機能しているとは思わない。
- 【議】撤退も視野にあると。ぜひ双方で協議して欲しい。



海江田議員

## バイオガスプラント建設と綾町の未来



一般質問の様子を動画で見る

- 【議】建設スケジュールと候補地は。
- 【町】令和8年度に基本設計と住民説明会、9年度に実施設計と着工、10年度の完成・稼働の計画。候補地は町内3か所で、敷地は約3,000~4,000㎡を想定。
- 【議】事業の目的と町の位置づけは。
- 【町】本事業は、長年取り組んできた「自然と共生するまちづくり」を次世代へ継承するため、資源循環を再構築し、農林水産業の振興や循環型社会の構築、ブランド価値向上、環境保全や脱炭素が目的。「自然と共生するまちづくり」を具体化する象徴的なプロジェクトと位置付ける。
- 【議】原料確保と地域連携は。
- 【町】町内の生ごみ、家畜排せつ物、焼酎かすなどで日量20~30トン想定し、町内農家・事業者と連携して収集・運搬ルールを整備。将来的には近隣市町村との連携も視野。
- 【議】建設費と運営費の財政負担は。
- 【町】建設費は約10億円で、国庫補助金や地方債を活用する。運営費は電力・熱利用や液肥販売で自立的な収支構造を目指す。

- 【議】環境面・生活環境への影響は。
- 【町】悪臭や騒音対策、交通影響の低減策として、密閉施設の導入や騒音レベル規制基準以下の機械の設置、運搬ルートは住宅密集地を極力避ける。
- 【議】住民理解と合意形成は。
- 【町】住民参画が不可欠。家庭での生ごみ分別などの協力が大きなカギ。住民説明会などで理解と合意形成を図る。
- 【議】マイナンバーカードの保有状況と今後の活用は
- 【議】保有率や年代別の傾向は。
- 【町】本町のマイナンバーカード保有率は82.6%で、70代以上が31.9%と高い一方、現役世代は25%と伸び悩んでいる。
- 【議】保有率向上の取組と成果は。
- 【町】休日窓口や時間延長、商業施設・高齢者施設での申請支援を実施、高齢者層の保有率に繋がっている。
- 【議】行政サービスの活用は。
- 【町】子育てや介護手続き、検診予約など行政手続のオンライン化を順次拡大する。



上野議員

## 国スポの負担はどれくらい？



一般質問の様子を  
動画で見る

議 国スポに対してどれくらい町の負担があるのか分かりにくい。結局いくら負担することになるのか。

町 一般財源からは、令和7年度で2,270万円、令和8年度で1億5,740万円。地方債は1年あたり3,300万円の負担増となるが、施設等は将来世代も活用するので、世代間負担の均衡を図る上で妥当である。地方債の負担増については1年前より話していた増額であり、これを削減できるよう努力したい。

議 一般財源からの金額や地方債の負担増について町長はどのように評価するのか。

町 担当部署の頑張りや、私自身も県の担当課と協議をして、かなり減額出来ていると考える。今後は運営費について少しでも削減できるよう、各競技団体とも協議をしていく。

### 国スポのスタッフは足りるのか

議 各競技の運営においてコアとなるスタッフは町の常勤の職員を配置していくのか。

町 競技の円滑で適正な実施を図るために町職員を業務の中核へ据えることが不可欠。競技ごとに運営形態等が違うことから必要な人数も違ってくる。過去の開催県を見ると、相当数の職員を配置している

例もあるが、綾町では役割等を統合し、効率化を図っていく。

議 ボランティアの募集に関して、開催日が平日の複数日ということを見ると、集めるのが難しいのではないか。

町 そのような心配はありがたいが、重々承知している。近隣の高校や大学からも前向きな回答をいただいている。

議 いまの人員では不安があるので、国スポの前後だけの会計年度任用職員等を雇用するなど検討してはどうか。

町 現在の人員で対応すべくプランを立てる。そのような職員を雇用すれば、余計に費用がかかる。しっかりとした体制を整えお伝えするので、無用な心配はしないでいただきたい。

議 無用な心配をしてしまうのは、具体的な方向性を示されないから。しっかりとした体制を示されると言う町長の言葉を信じて、見守りたい。

他に、豚熱の対策、照葉大吊橋からの遊歩道整備について質問した。



外山議員

## 子ども議会での提案の実現は



一般質問の様子を  
動画で見る

議 ゴミ拾いは実施するのか。すればいつ頃になるか。

町 令和8年5月10日予定。拾ったゴミの量に応じて記念品等、10万円予算を計上。

議 子ども議会で提案した事が実現することは、子ども達にとって良い体験になり、良い記憶や記念になると思う。

### オンデマンドバスの今後、町民の利便性向上の成果は

議 1年間の実証実験で、住民評価・課題を町の総括で4月からの運行体制にどう反映させるか。

町 4月から始まるオンデマンド交通は町民の意見を元に毎月、実務者会議・社会福祉協議会・幹部会で検討。利用時間・乗降地への移動の不便はあるが、無料で何回も利用可。町内全域使用可。

議 1ヶ月の平均の人数以外の利用の多い時間帯・ルート・利用距離・曜日・天候等、細かい事まで調べるのが総括では。

町 事前に連絡すれば調べておくが現時点では答弁できない。

議 次回からアンケート等のデータを基に総括していただきたい。

### 地域おこし協力隊への公金支出の透明性と管理責任

議 エコパーク隊員の活動報告において、日報の提出はないとのことであるが、会計検査院の検査には対応できるのか。

町 業務内容の精査と公金支出の妥当性を十分に確保しており問題ない。

議 ある自治体では一つの課が全体をまとめている。綾町もそういった課を作らないのか。

町 各課で適正に対応していると認識。

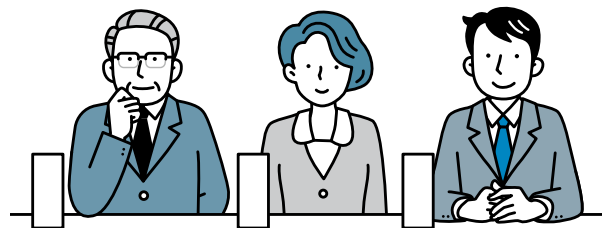
議 テゲバジャーロの方はSNS発信されているが、一部の町民しか知らない。オフの時期は小・中学校と相談して、体育の時間に指導する計画はなかったのか。

### 小学校の国語・算数ドリル

議 完遂させるものではないのか。

教 市内の一部ではドリル完遂が必要とのことだが、綾小では学力の定着・学習理解の質を重視。学習効果と児童生徒、保護者の負担バランスに配慮。

# 議員報酬は高いのか？



先日8年ぶりに報酬審議会が開催され、  
議長、副議長、委員長の報酬については増額が決定されましたが、  
一般議員については据え置きということでした。

一般議員の報酬はいくらなのか、県内の他町村と比較をしてみていきましょう。

## ● 県内町村議員の報酬月額(令和7年10月1日現在)

区分	町村名	議員報酬
5,000人未満	西米良村	200
	五ヶ瀬町	228
	日之影町	212
	木城町	211
5,000人 ～10,000人未満	綾町	201
	高原町	202
10,000人 ～20,000人未満	高千穂町	232
	川南町	208
	新富町	283
20,000人以上	国富町	232
	三股町	236

(単位:千円)

表にあるように綾町は、県内町村の中では西米良村に次いで低い20万1千円となっています。さらに、ここから健康保険、年金、所得税、住民税等を差し引かれてしまいます。  
このような背景があり、働き盛り世代が仕事を辞めて議員に立候補することは難しく、「議員の高齢化」や「なり手不足」が深刻な課題となっています。  
また、地方議会議員年金制度は2011年に廃止されたため、多くの議員は国民年金に加入しています。

一方で、議員の年間活動日数を考慮すると「もらい過ぎ」ではないかとの意見も聞かれます。  
全国町村議会議長会が示した原価方式算定モデル(令和4年モデル)によると、

議員の活動日数	117日	×	綾町長の給料	=	綾町議員報酬月額
町長の職務遂行日数	305日		673,000円		258,167円

※議員の活動日数は広島県安芸太田町のモデルを参考としました。

このような金額が綾町議員としては算定されました。  
この金額を高いと考えるのか、妥当と考えるのか。これらの金額も参考にして、  
議会内で慎重に議論を進めていきたいと考えています。

# 議会

## の動き

### 議員研修報告

松浦 議員、児玉 議員、  
日高 議員

日程 令和8年1月19日～20日

場所 滋賀県全国市町村国際文化研修所

京都大学名誉教授広井良典氏の講話では、人口減少社会の中で、これから8～10年後までに都市集中型から地方分散型となるシナリオが示されました。

また、「夢と誇りが持てる世界都市・高松」を掲げる香川県高松市の大西市長からは、子ども食堂からつながる地域コミュニティづくりとして、限られた公共施設の開催だけでなく、幅広く展開を図ることが重要。例えば全国子ども食堂応援募金の実施などがあり、綾町でもさまざまな角度から検討すべきと思いました。人口減、超高齢化社会、経済の成熟化を前提に、発想の転換が必要であり、行政主導でもなく、民間任せでもない、真の意味での共創の町づくりについて講話がありました。

### 宮崎県町村議会議長会研修

日程 令和8年1月29日

場所 宮崎市佐土原総合文化センター

「指導とハラスメントの違いとは」をテーマに議員研修が行われました。研修では、業務上必要な指導は相手の成長を促す目的で行われ、内容や方法が適切であることが重要である一方、人格否定や過度な叱責、継続的な圧力はハラスメントに該当することが確認されました。

また、受け手の感じ方や職場環境にも配慮し、相互の信頼関係を築くことが大切であると学びました。今後は、一人ひとりの意識を高め、相手を尊重し安心して意見の交換ができる職場環境の実現を目指します。

### 文教福祉常任委員会行政視察

日程 令和8年3月23日～24日

場所 小林市、熊本県熊本市・南阿蘇村

小林市では、佐土原誠先生を訪ね「真のキャリア教育とは」についてお話を聞かせていただきました。市内の商工業者と連携を取りながら進めていること、失敗してもそれを経験として活かせる仕組み作りなど、まさに今の教育に大事なことを学ばせていただきました。

熊本では県の防災センターや、旧東海大学阿蘇キャンパスにある震災ミュージアムへ行き、10年前の熊本地震について学んできました。断層上で崖崩れや、橋の崩落など大きな被害が起きていたので、綾町内にはそのような断層がないのか担当課とも対策について話したいと思いました。

### 認知症サポーター養成講座

中神 議員  
他6名参加

日程 令和8年2月4日

場所 綾町公民館大研修室

公民館長と議員の合同研修会で認知症サポーター養成講座が開催されました。「認知症とは？」から始まり、3つのパターンを想定し、各課題に寸劇を交えて対処法を学びました。同じ目線で、ゆっくり、丁寧に言葉を交わし、優しい会話を心がけることが大切であること。今後、自分も介護者・当事者になりえる事を踏まえ、とても良い研修となりました。また、この研修を通してあらためて日頃から認知症への予防策が大事だと感じました。



### 一般質問の動画配信について

一般質問の様子を動画配信しています。  
役場ホームページから視聴可能です。



### 編集後記

桜は葉桜となってしまいました。照明大吊橋から見える新緑は、ブロッコリーのようにモコモコと日々成長しています。

私たち議員の任期も残すところあと一年。今年の秋には、国スポのリハーサル大会もあります。議員みんなで参加をし、盛り上げていきます。